（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育研究室Lulu大津（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年　2月　1日	～	2025年　2月　22日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	25	（回答者数）	11
○従業者評価実施期間	2025年　2月　1日	～	2025年　2月　22日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　2月　28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピストや保育士等の多職種での支援	セラピストや保育士等が一緒になって活動を行うことで、様々な支援を提供している	専門職がその専門性にあった活動を主に提供していく
2	セラピストによる専門的支援へ向けた評価、アセスメントの実施。	セラピストが必要な評価を行い、ご利用児童一人ひとりの発達段階に合わせた課題の提供を行っている。	保育士、児童指導員と共に情報共有を行ないながら、利用児童一人ひとりの発達段階や特性を活かした支援をより強化します。
3	小集団での保育士による児童に寄り添った支援	小集団での保育士支援のもと、まずは小集団化の集団適応への支援が行なえる。児童の精神的な崩れや不穏に対し、寄り添った支援・児童主体の支援を提供している	支援方法などの多職種での共有を行いより連携を図る事で支援の質の担保を行ないます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域、家族支援	地域、家族含めた活動の実施がまだ充実していない	今後は家族、地域へ向けた事業所の特色の発信を行い、家族、地域を含めた活動や家族同士での繋がりを作れる機会を検討していく。
2	テナント内での事業所運営の為、構造化した支援を行うことに対しての環境調整の限界がある。	パーテーションを使い可能な範囲での構造化を図っている。	今後も環境調整を行いながら構造化を図り支援を強化していく。
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども療育研究室Lulu大津 （児童発達支援）

公表日　2025年　3月　10日

利用児童数　25　回収数　11

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	0	1	0	特記なし	事業所内の整理整頓に努め、利用児童が過ごしやすい環境を提供していきたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1	0	2	特記なし	安全管理上必要な人員の確保に努めていきます.
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1	0	1	特記なし	継続して利用される児童および関係者様にとって過ごしやすい環境整備に努めていきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	継続して利用される児童および関係者様にとって過ごしやすい環境整備に努めていきます
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	今後も利用される児童およびその保護者様に寄り添うサービスの提供を心がけていきたいと思います
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	11	0	0	0	特記なし	公表している専門性をいかした支援を継続して提供していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	継続して生活場面の課題の共有を行ない、家族・利用児童に寄り添ったサービスの提供を行ないます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	今後も利用児童一人ひとりの生活場面、機能面のアセスメントを通して、利用児童に必要な課題や支援方法を提供していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	今後も基本計画をベースに利用児童一人ひとりの課題や目標に寄り添った支援を提供していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	利用されている様子を見ていただき、計画書の内容について不明な点がある場合は都度説明を行うなど機会を設けたいと思います
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	1	5	特記なし	こども食堂への参加など地域と関わる機会は実施しているため
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1	0	0	特記なし	継続して契約の際の丁寧な説明と同意を行なっていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0	特記なし	ご本人、ご家族の困り感や課題を共有した計画書の作成に伴う説明と同意に努めていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	1	3	特記なし	児童発達支援センターや家族参加できる研修会等、情報の提供を行なっていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	継続して生活場面での変化など、連絡帳やLINEなどの連絡ツールを活用し情報共有を図っていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1	0	1	特記なし	今後も、利用される児童およびその保護者様に寄り添うサービスの提供を心がけていきたいと思います
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	ご本人、ご家族の困り感や課題を共有し、必要な支援の提供や相談を行なっていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	2	3	6	特記なし	今後、家族参加型のイベントの企画、保護者会や参観日などの機会を設けることができるように検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0	0	1	特記なし	今後もご家族からの相談に対しては、情報共有や支援方法の提案など時間を設けご対応していきます。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	継続して生活場面での変化など、連絡帳やLINEなどの連絡ツールを活用し情報共有を図っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	2	特記なし	継続して定期的な行事予定の共有、利用の際の活動内容の共有を行なっていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	0	特記なし	継続して個人情報の取り扱いには十分配慮し日々の業務に努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	1	特記なし	ホームページやおたよりを通じて、安全管理および運営上必要な取り組みついて告知を行っていきたいと思います
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	2	特記なし	活動を通して、防犯・火災・地震などの防災訓練を継続して実施していき、連絡帳を通して共有を図っていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	10	0	0	1	特記なし	同上
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	2	特記なし	緊急時対応を利用児童一人ひとりに作成を行っており、緊急時の対応について年に１度内容の更新を行っていきます
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	11	0	0	0	特記なし	今後も継続して、安心して通所できる支援の提供や環境整備に努めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	0	特記なし	今後も遊びを通して経験と学習を提供していきながら楽しく成長を育めるよう支援を行なっていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	0	特記なし	継続した専門性をいかした評価、アセスメントを通して、一人ひとりの成長に寄り添った支援を提供していきます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	こども療育研究室Lulu大津 （児童発達支援）

公表日　2025年　3月　10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	備品の配置や導線に対して配慮し、利用児童が空間の把握がしやすいように環境整備を行なっています。	事業所がテナント内であり大きな環境整備は難しい部分もあるため、整理整頓を行ないながら安全管理面も考慮した支援スペースの整備を行なっていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	3	個別での支援が必要な利用児童に対しては、スタッフが１対1での支援を行ない、安全管理面含めた個別の特性を考慮した支援を実施しております。	ASD傾向が強く個別対応が必要な利用児童も増えている。安全管理面含めた職員配置を行ない支援方法の検討を行なっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	集団活動、個別活動でのフロアの差別化を図った環境の提供を行っている。	テナント内の事業所運営において大きな改善は難しい部分はありますが、障害特性に応じた環境の配慮に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	10	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	保護者、事業所内での自己評価結果を現場スタッフへ共有し改善へ向けた検討事案等の話し合いを行なっています。	今後は第三者評価含めた、外部評価の検討を行っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	研修案内の共有を通して外部研修への参加の促しや法人内委員会活動を通した勉強会、研修会を実施しております。	継続して法人内、外部研修含めた参加の励行を行います。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	10	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	週間予定や行事予定などチーム内での立案、検討を行っている。	継続してチーム内連携を図っていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	継続が必要な面も考慮しプログラム立案を行っています。	継続が必要な面は課題負荷の調整など楽しく学べるようにプログラムの立案を行っていきます。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	計画的なプログラムの立案や、支援内容の確認などチーム内での協働を行っています。	今後も計画的な支援の立案やチーム内連携を図っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	9	1	支援後の振り返り時間を設け情報の共有を行っています。	継続した振り返りを通して一人一人の成長や支援方法の共有を図ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	8	2	現在、児童発達支援センターを通したスーパーバイズは受けていない。	今後、事業所支援の質の担保も含め、スーパーバイズの機会を検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	地域活動への参加の機会は設けていますが、地域の保育園との活動機会はまだ実施できておりません。	今後より地域への発信など活動機会を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	個別でお受けした相談等に対しては支援方法の提案を行っています。	今後はペアトレ含めた家族支援の体制を構築してるよう検討します。
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5	兄弟児利用の際は、同日の活動参加を促す機会を設けいています。	今後は家族を含めた活動参加の機会や家族会など情報共有を行える場面の提供を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3	現在地域住民との活動実施はできておりません。	今後より地域への発信など活動機会を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0		